



第一礼拝次第

説教:渡真利彦文牧師

前奏	5 4 0	会衆
主の祈り		〃
プレイズ	「我が灯のため」 「聖い御霊よ」	〃
聖書朗読	創世記 12:1-3	司会
祈り	(旧約聖書 p15)	〃
特別賛美	6 6	会衆
賛美		牧師
説教	「すべての国々に伝えよ」	〃
祈り		会衆
賛美	2 1 4	〃
献金		司会
報頌	告栄	会衆
祝	祈	牧師
	新生 6 7 2 B	



第二礼拝

説教: 渡真利文三牧師

司会: 渡真利彦文牧

聖書: ガラテヤ 3:26-29 (新約聖書 p346)

説教: 「皆キリストにあって一つ」

プレイズ: 「鹿のように」 「御手の中で」

賛美: 新生 76 新生 363



ファミリー礼拝 (9:00)

聖書: 創世記 37:12~36

メッセージ: 「はぎ取られた晴れ着」

<巻頭言>

「教誨師という伝道」

先月6月24日沖縄タイムスに、緑色の服を着た受刑者に彦文師が語りかけ、その右横には大きな十字架が並ぶ印象的な写真と記事が掲載されました。大きな伝道になっている、と他の教会の方々からも、いい写真、いい働きですねとの声をいただきました。

昨年「教誨師」という日本映画が上映され、またこの新聞記事で「教誨師」の「きょうかい」とは「教戒」ではなくて、「教誨」なのだ気づかされた方もおられることでしょう。受刑者は、道徳や倫理などの教えを聞く義務がありますが、魂の救済を目指す宗教教誨は、希望する人対象です。沖縄刑務所には、犯罪や違反で10年未満の刑期が確定した男性受刑者が収容され、この日は13名の方が彦文師の話に背筋を伸ばし静かに耳を傾け、彦文師は、「誰もが神に愛されている。必ずやり直せます。」と一人ひとりのお顔を見ながら熱く語りかけられました。

この世で犯した罪は、この世の法律で裁かれ、償いを果たし赦されますが、一度犯した罪はなかなか消し去ることはできず、刑を終えて世に出た後も、厳しい道が続きます。しかし、イエス様は、犯罪に当たる罪も、神に対する背きの罪も、ただ信じることで、すべてを赦し、新しく生き始めることを与えて下さいます。この赦しめぐみを受け取り、イエス様の愛に支えられ生きてほしいと祈らずにはおられません。彦文師の教誨師としての伝道の働きを、私たちが知り、祈り支えていきますようにと祈ります。

文責 (仲本貴子)